

医学研究科倫理審査委員会議事要旨

日 時：平成 22 年 9 月 30 日(木) 午後 3 時～午後 4 時 3 0 分

場 所：医学部非常勤講師控室

出 席：鈴木貞夫 委員長、杉浦真弓 副委員長、横山信治 委員、青木康博 委員、
村上信五 委員、藤井聡 委員、多田豊曠 委員、金子義明 委員

欠 席：木村玄次郎 委員、山下啓子 委員、岩田広子 委員、向井晴史 委員、安藤究 委員

1 持ち回り委員会等結果（報告）

委員長より別紙のとおり、平成 22 年 7 月 22 日平成 22 年度第 2 回倫理審査委員会以降に、持ち回り委員会等により承認された研究課題の報告がなされた。

2 審議案件

(1) 受 付 番 号：506

研究課題名：中枢神経原発リンパ腫 2005 - 2009 年症例の遡及的調査

申 請 者：放射線医学 教授 芝本雄太

① 審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・ 本研究が申請通りレトロスペクティブな研究であるのならば、多施設への調査依頼文の内容を整理し記載を改めること。

② 結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、委員長が判定を行う。

(2) 受 付 番 号：489

研究課題名：フタル酸エステル生殖・次世代影響の健康リスク評価に関する研究

申 請 者：環境保健学 助教 伊藤由起

① 審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

② 結論

本件は承認とする。

(3) 受 付 番 号：502

研究課題名：関節疾患に対する術前、術後における形態評価とその力学解析および動作解析

申 請 者：関節再建医学 教授 井口普敬

① 審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・ 本研究がプロスペクティブな要素を含むのであれば、その部分についてはインフォームド・コンセントが必要となるゆえ、申請書等について内容を整理すること。その際用いる説明書、同意書および同意撤回書については医学研究科倫理審査委員会の形式に則り、本研究を目的としたものとして新たに作成すること。
- ・ 研究計画書について、再度体裁を整えたものを作成すること。
- ・ 申請書「1 3 個人情報の保護」において、個人情報管理者は研究責任者以外の者とすること。
- ・ 申請書「1 4 インフォームド・コンセント」において、(2)代諾の有無「イ」について該当部分にチェックを入れること。

② 結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、委員長が判定を行う。

(4) 受付番号 : 516

研究課題名 : ヒト iPS 細胞からの分化誘導肝細胞移植によるキメラマウスの作成

申請者 : 機能解剖学 教授 池田一雄

① 審査の概要

横山委員より本学の状況等（ヒト iPS 細胞に関する研究審査・管理体制）について説明があり、その後申請者から研究内容について説明を受けた。

審査の結果、以下の点について内容の確認があった。

- ・ 文科省の指針によると、ヒト iPS 細胞より生殖細胞を作成する場合には各研究機関で審査することとされている。
- ・ 本件は生殖細胞を作成する場合に該当しない。
- ・ ES 細胞・iPS 細胞を用いる研究については今後学内で把握する管理システムを構築すべく本部が動き始めたところである。
- ・ 本件については、現医学研究科倫理審査委員会として審査の必要はない。

② 結論

本件は「非該当」とする。本学としては今後ヒト iPS 細胞等の研究についても対応可能な審査・管理体制を整えることが望まれる。

以上